

事務事業評価シートの見かた

2015/12/14 17:09:03

計画事業評価表 (1/2)												
計画事業 ①		000398 政策マーケティング(100人ミーティング)事業										
評価基準年度 ②		平成26年度		事業開始年度 ③		平成25年度		担当部名 市長公室				
基本理念		11 市民協働の推進		担当課		企画課						
基本方針		03 新たな協働の仕組みにより地域力を再生・強化する		新規継続区分 ⑥		継続事業						
④ 施策の大綱				実施計画区分 ⑦		実施計画事業						
施策				自由区分3		A						
根拠法令 ⑧		なし										
構成予算事業				会計		款		項		目		
20258 政策マーケティング事業		01 一般会計		02 経務費		01 経務管理費		06 企画費				
実施方法 ⑩		<input checked="" type="checkbox"/> 国庫補助事業 <input type="checkbox"/> 府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (委託先又は指定管理者: 100人ミーティングの運営委託)										
事務事業の意図 (どのような状態にしたいか)		市民協働の推進やまちづくり計画の策定にあたり必要となる多様な市民意見の抽出と、それを政策に反映するための新たな手法を京都府北部・大学連携機構との連携・協力により研究開発する。										
対象 (誰・何を対象に)		市民、市役所										
⑪ 事業内容 (千段、千法などで具体的な数字や金額も記入してください)		多様な市民意見の抽出と、主体的なまちづくり意識醸成のため、無作為抽出の市民100人によるまちづくりの討議会(100人ミーティング)を実施。 (旅費) 旅費 90千円 (需用費) 消耗品費 17千円 (役務費) 郵送料 42千円 (委託料) 委託料 1,833千円 100人ミーティングの運営を京都府北部地域・大学連携機構に委託										
関連事業 (同一目的事業等)												
		単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度						
⑫ 事業計画額	A コスト	委託料	千円	2,000	1,833	1,365	0					
		旅費	千円	70	90	0	0					
		報償費	千円	216	66	0	0					
		役務費	千円	33	42	15	0					
		需用費	千円	105	17	5	0					
		報酬	千円	0	0	0	0					
		給料	千円	0	0	0	0					
		職員手当等	千円	0	0	0	0					
		共済費	千円	0	0	0	0					
		その他	千円	0	0	53	0					
		小計	千円	2,424	2,048	1,438	0					
		B	人件費	千円	1,260	1,260	1,728	0				
総事業費(A+B)	千円	3,684	3,308	3,166	0							
国支出金	千円	2,424	1,833	1,436	0							
府支出金	千円	0	0	0	0							
⑬ 財源内訳	国・府支出金	市町村合併推進体制整備補助金										
	地方債	千円	0	0	0	0						
	その他特財	千円	0	0	0	0						
	地方債・その他特財	コメント										
	一般財源	千円	1,260	1,475	1,730	0						

計画事業評価表


(2/2)

計画事業	000398	政策マーケティング（100人ミーティング）事業				
活動指標名		単位	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
100人ミーティング参加者数	目標	人	100	100	100	
	実績			55	114	
	単位コスト					
活動実績	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果指標名	目標					
	実績					
	単位コスト					
成果実績	目標					
	実績					
	単位コスト					

事項	担当課評価																																																															
<p>事業の妥当性・必要性 <small>(市の関与の適切性、市民・社会ニーズ、今後の必要性、計画による位置づけ、緊急性などの観点から)</small></p>	<p>新まちづくり計画の策定と、市民の声が行政に反映される新たな仕組みの構築のため、必要性は高い。</p>																																																															
<p>事業の有効性 <small>(上位施策への貢献度、類似・重複した業務事業の有無、成果指標の達成状況、経済への波及効果、人材の育成や次世代への投資などの観点から)</small></p>	<p>アンケートや審議会、委員会などでは得ることが難しい市民の潜在的なニーズの抽出と、無関心層に対する市政参画の機会を創出するという面において、無作為抽出の多様な市民による討論は非常に有効性が高い。</p>																																																															
<p>事業の効率性 <small>(有効な財源の活用、省力化によるコスト削減、活動量に対する事業効果、適切な受益者負担などの観点から)</small></p>	<p>市政に対するの関心の高さに関わらず、多様な市民が一からまちについての議論を成立させるには、一定の時間と、綿密な事前準備と場作りが重要となる。</p>																																																															
<p>コストと成果の方向性 ⑰</p>	<p>事業の評価 ⑱ (今後の事業の方向性、課題等)</p>																																																															
<p>◇事務事業の方向性の組み合わせ</p> <table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	①	②	③	④	⑤	⑥	拡大	×	×	×	×	×	×	維持	×	×	×	×	×	×	縮小	×	×	×	×	×	×	休廃止	⑦	×	×	×	×	×	削減	×	×	×	×	×	×	縮小	×	×	×	×	×	×	維持	×	×	×	×	×	×	拡大	×	×	×	×	×	×	<p>C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)①</p> <p>今後は、必要な業務内容をしっかりと把握し、委託内容の見直し等により、職員にかかる人件費の削減、作業の効率化を図る必要がある。</p>
成果の方向性	①	②	③	④	⑤	⑥																																																										
拡大	×	×	×	×	×	×																																																										
維持	×	×	×	×	×	×																																																										
縮小	×	×	×	×	×	×																																																										
休廃止	⑦	×	×	×	×	×																																																										
削減	×	×	×	×	×	×																																																										
縮小	×	×	×	×	×	×																																																										
維持	×	×	×	×	×	×																																																										
拡大	×	×	×	×	×	×																																																										

評価シートの解説

様式中参照	項目	表の見かた・解説	
①	計画事業	事務事業評価における事業名です。1つ又は同種の目的を持つ複数の予算事業により構成されます。	
②	評価基準年度	評価の対象となった決算年度を示しています。	
③	事業開始年度	評価の対象となった事業の開始年度を示しています。平成元年度以前から開始している事業及び開始年度が不明な事業については「平成1年」としています。	
④	基本理念、基本方針、施策の大綱、施策	第4次福知山市総合計画後期計画での位置付けを示しています。	
⑤	担当部名、担当課	事業を実施する担当部及び担当課を記載しています。	
⑥	新規継続区分	評価基準年度から開始した事業は「新規事業」とし、前年度以前に開始した事業は「継続事業」としています。	
⑦	実施計画区分	現在は使用していません。（記載されている内容に意味はありません。）	
⑧	根拠法令	事業実施の根拠となる法律や条例、規則等を記載しています。	
⑨	構成予算事業	事務事業評価の基礎となる予算事業の名称です。	
	会計、款、項、目	会計の種類や予算の分類が表示してあります。	
⑩	実施方法	当該事業の実施方法（形態）を示しています。市による直接実施、民間等への業務委託や指定管理、補助金などの手法により区分しています。委託や補助金については相手方を示しています。	
⑪	事務事業の意図	この事業がなぜ必要なのか、実施理由や事業目的を示しています。	
	対象	事業の対象者、受益者等を示しています。	
	事業内容	事業内容の概略を示しています。	
	関連事業	関連事業や目的が類似した事業があれば記載しています。	
⑫	コスト（人件費は理論値）	A（人件費以外）	事業の支出科目ごとに決算額、予算額を記載しています。支出科目は、地方自治法施行規則第15条第2項の規定により市で執行する予算科目の「節」を表示しています。「小計」欄は当該事業全体の数値です。
		B（人件費）	事業に係る人件費コストを算出しています。部課長級職員を除く職員の人件費を従事割合（従事日数）に応じて各事業に配分して算出しています。人件費は市職員1人あたりの人件費（給料、各種手当、共済費）の総額の平均的な金額として、年間800万円を基礎に算出しています。平成27年度から全課において、窓口対応等の各課共通人件費をいずれかの事業に振り分けを行うこととしたため、前年度から大きく数値が変動しているものがあります。 （算出例） A職員 当該事業に対して年間全業務のうち15%に従事 B職員 当該事業に対して年間全業務のうち10%に従事 当該事業に係る人件費 $8,000千円 \times (0.15+0.1) = 2,000千円$
	総事業費	事業の決算値と算出した人件費の合計	
⑬	財源内訳	「総事業費」を構成する財源の内訳を示しています。合わせて、財源の詳細等についてコメントを付記しています。コスト欄で示した「人件費」は原則一般財源となります。	

⑭	活動実績 (上段：目標 中段：実績 下段：単位コスト)	当該事業が提供する行政サービスの「活動実績」を定量的に示しています。 上段を目標値、中段を実績としています。 また、コスト欄の「総事業費」をそれぞれの活動実績や成果指標で除して単位あたりのコストを算出しています。(一部事業については記載していません。)																																																									
⑮	成果実績 (上段：目標 下段：実績)	活動実績により生じた事業の「成果」を同じく定量的に示しています。 上段を目標値、下段を実績としています。																																																									
⑯	事業の妥当性・必要性	市の関与の度合いや市民ニーズや社会性、緊急性などの観点から事業を検証しています。																																																									
	事業の有効性	成果指標等の達成状況や市民サービス向上など事業の有効性を検証しています。																																																									
	事業の効率性	コスト削減や財源確保など効率的な事業実施ができていないかについて検証しています。																																																									
⑰	コストと成果の方向性	<table border="1" data-bbox="363 660 699 891"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td>×</td> <td>③</td> <td>⑤</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>皆減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="4">コスト投入の方向性</td> </tr> </table> <div data-bbox="721 660 1394 947" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>これまでの評価項目をふまえて、左の表により当該事業の今後(評価基準年度の翌年度以後)の方向性を評価します。</p> <p>「成果(事業活動や成果)」「コスト(財源投入)」をどう方向付けるかについて、それぞれ「拡充」「(現状)維持」「縮小」「休廃止・皆減」の区分に「○印」を付して示してしています。</p> <p>この分類に基づき次項で事業の総合評価を行います。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <table border="1" data-bbox="363 1019 1347 1323"> <thead> <tr> <th>数値</th> <th>成果・コスト評価の分類</th> <th>総合評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>拡大基調</td> <td>C 拡充が必要</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>生産性向上</td> <td rowspan="3">B 改善(事業の進め方等に改善が必要)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>効率性向上</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>生産性・効率性向上</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>現状維持</td> <td>A 現状維持</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>縮小</td> <td rowspan="2">D 事業の抜本的な見直し、民営化、休廃止の検討が必要</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>休廃止</td> </tr> </tbody> </table>	成果の方向性	拡充	×	④	②	①		維持	×	③	⑤	×		縮小	×	⑥	×	×		休廃止	⑦	×	×	×			皆減	縮小	維持	拡大			コスト投入の方向性				数値	成果・コスト評価の分類	総合評価	①	拡大基調	C 拡充が必要	②	生産性向上	B 改善(事業の進め方等に改善が必要)	③	効率性向上	④	生産性・効率性向上	⑤	現状維持	A 現状維持	⑥	縮小	D 事業の抜本的な見直し、民営化、休廃止の検討が必要	⑦	休廃止
成果の方向性	拡充	×	④	②	①																																																						
	維持	×	③	⑤	×																																																						
	縮小	×	⑥	×	×																																																						
	休廃止	⑦	×	×	×																																																						
		皆減	縮小	維持	拡大																																																						
		コスト投入の方向性																																																									
数値	成果・コスト評価の分類	総合評価																																																									
①	拡大基調	C 拡充が必要																																																									
②	生産性向上	B 改善(事業の進め方等に改善が必要)																																																									
③	効率性向上																																																										
④	生産性・効率性向上																																																										
⑤	現状維持	A 現状維持																																																									
⑥	縮小	D 事業の抜本的な見直し、民営化、休廃止の検討が必要																																																									
⑦	休廃止																																																										
⑱	事業の評価 (今後の事業の方向性、課題等)	前記の分類表にもとづき、事業の総合評価について記載をしています。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A 現状維持(現在の事業規模により継続実施)</p> <p>B 改善(事業の進め方等に改善が必要)</p> <p>C 拡充(人員や予算規模の拡充が必要)</p> <p>D 縮小・廃止(実施期間の終了または事業の休廃止の検討が必要)</p> </div>																																																									